

GLOBAL MIND

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際学園は、建学の精神である「全人教育」を基礎として、礼節を重んじ、世界に通じる心豊かな人間を育成します。

グローバルビジョン

VVVフェンロに続き、新たにグローバル研修実施へ パリとシンガポール 人材育成を使命に

オランダVVVフェンロのグローバル研修に引き続き、2014年2月、3月にはインドネシアのパリ島とシンガポールで新たなグローバル研修を実施することになりました。

パリ島では、世界でもトップクラスのリゾートホテルで3週間のインターンシップを体験、世界に通じるホスピタリティを学びます。ホテルでの対応は全て英語になるため、研修参加者には一定レベルの英語力が求められます。そのため出発前に、海外ホテル事情、ビジネス英語の研修を実施し、心構え、準備とも万全の状態に、インターンシップに臨みます。協定校ウダヤナ大学との交流もあります。また、厳しいインターンシップの合間の休日には、青い空、白い砂浜のパリの海岸や、

パリ島の伝統文化の探索などに時間を費やすことも研修に思い出を増やすでしょう。

シンガポール・フィリドトリップでは、アジアのビジネスの中心としてのシンガポールにおいて、パナソニック・アジアなどでのアジア戦略を学び、またリゾート施設においては、豪華ホテルに宿泊しながら本格的なエンターテインメント施設の見学、職業体験を行います。さらに、シンガポールの協定校ナンヤン・ポリテクニクでは英語によるシンガポール事情の講義を受ける予定です。こちらの研修も出発前には、英語研修、シンガポール事情研修、企業訪問などを行い、8日間という短期間の研修ですが、現地での研修がま

たない貴重な経験となるよう計画しています。

どちらの研修も相当の「英語力」を求められますが、海外のビジネスやホテル、エンターテインメント業界に興味がある学生には、ぜひチャレンジしてほしい研修のひとつとなることは間違いありません。また、これら海外インターンシップや職業体験を通して、参加者が将来、就職の選択の幅を、国内のみでなく、海外にも広げてくれることを期待しています。

海外で職業体験を行うこのグローバル研修は、ベトナム、タイ、インドネシア、マレーシアなど東南アジアからアフリカ、中近東、南米へと更に地域を拡げ、来年度以降も引き続き実施する予定です。グローバルマインドを養



パリ島では世界トップクラスのリゾートホテルでインターンシップを通じてホスピタリティを学ぶ。観光旅行ではできない体験が待っている

う絶好の機会として、一人でも多くの学生の参加を期待しています。
(副学長 宮本 郁夫)

大学グローバル研修第1弾 オランダVVVフェンロ海外研修を実施 充実の内容で参加学生の満足度高く

オランダのプロサッカーチーム・VVVフェンロとのパートナー契約に基づく「VVVフェンロ海外研修」が、9月に実施され、8人の学生たちが参加した。この研修は、大阪国際大学が企画する、国際社会で活躍する人材育成プログラムの一つで、プロサッカーの本場でスポーツビジネスを学ぶもの。8人は、事前学習として、スポーツビジネスの基礎知識などを学んだ後、9月9日から9日間、現地に渡って研修を受けた。



プロサッカーの生の現場で学ぶこの研修は、学生たちに大きな刺激を与えた

研修初日は、VVVフェンロからクラブチームの経営方法などの話を聞いた。サッカー文化が社会に根付いている様子を生の声で聴くことができ、学生たちは皆新鮮な驚きを覚えていた。また、スポンサー企業も訪問。学生たちも英語で質問に挑戦。また、海外で働く日本人の姿に触れ、強い刺激を受けていた。

オランダ、ドイツでのスタジアム観戦では、選手と観客が一緒にサッカーを楽しむ一体感に感動しながら

も、学生たちは、それぞれの国の客層や試合運営の違いなどをチェック。ビジネス的な視点も忘れずにサッカーを分析した。

参加学生代表の原田高彰さん(ビジネス学部経営デザイン学科3年次生)は、次のように語ってくれた。
「VVVフェンロに勤める日本人の方と出会い、世界で活躍している人ってなんてかっこいいんだと感動しました。帰国後は、自発的に、元気に、自



たらとは思いません」と語ってくれた。滝井高校在学中、史上最年少Vリーグとして初の試合で、味方選手と交錯して前衛を折るアクシデントに見舞われたにもかかわらず、コートに立ち続けた宮下選手。自他共に認めるその負けず嫌いな気丈さで、プレッシャーや反省を力に変えて活躍することを期待したい。

世界にはばたけ、若き司令塔全日本セッター 宮下 遥 選手

大和田中学、滝井高校卒業生で、岡山シーガルズ所属の宮下遥選手が、女子バレーボールワールドグランプリ2013(8月〜9月)に出場し、全日本セッターとして本格デビューした。19歳の若き司令塔として期待され、予選ラウンド前のインタビューでは「セッターがかわったから日本が弱くなったと言われるのがこわい」と報道陣の前で涙を見せた宮下選手だが、プレッシャーをはねのけ、決勝ラウンド初日からMIP賞(最も印象的だった選手)に与えられる)を受賞するなど、大活躍した。

リオ、そして東京五輪に向けてますます注目度が高まりそうだが、「正直あまり考えていないんです。今はまず、岡山シーガルズが日本一になることが目標です。ただ、日本でオリンピックが開催されるということ自体がめったにないチャンスなので、その時に中心選手でいられたらと思います」と語ってくれた。

分らしく行動する。心をかけて、憧れの人たちに少しでも近づけるよう努力しています」
他の参加者たちも、貴重な体験や素晴らしい出会いの連続であった今回の研修で、それぞれの夢や将来像を明確にすることができたと語り、目標に向かって歩み始めている。研修参加は、学生たちの人生にとって大きなステップアップの機会となったに違いない。

大阪国際学園
理事長 奥田 吾朗
パイオニアの自信と

グローバルビジネス学部が2014年4月にスタートする。高校の先生らの期待を感じるが、未知数な不安があるのも事実だ。しかし、私は心配していない。新学部が世間に認められるかどうかは、結果だからだ。4年後、この学部からどんな卒業生を送り出せるか。そこにすべてがかかっている。

「グローバル」は、いま地球上を走り回る言葉だ。だが、私たちの大阪国際大学は、4半世紀前の1988年4月に開学したとき、「グローバルマインドをベースに、真の国際人としての資質と能力を備えた人材の育成」を基本コンセプトに掲げた。世の中で「グローバル」という言葉は、まだ出回っていない。

開学の精神、初心に立ち返ってスタートする。まさにグローバルの先鞭をつけたのが、私たちが。そのパイオニアの誇りに自信を持っている。すでに世界で羽ばたいている卒業生も多々いる。わが学園が日本で一番グローバルマインドを身につけた卒業生を送り出す。幼稚園、中学、高校、大学・短大で、教職員すべてが自信と誇りを持って進んでいきたい。

CONTENTS

- 2面 国際交流
- 3面 地域連携
- 4・5面 ニュース・活躍名鑑
- 6面 トピックス
- 7面 入試・就職
- 8面 学園アラカルト



8面 「ひと」枚方市民代表で
国際会議「ナガサキ」へ
森 友貴恵さん



米国テキサス州 ターレトン州立大学。学部で60以上の研究分野があり、キャンパスのグローバル化も進めている

初の南アメリカにも

海外大学との協定校

19カ国・地域 61校に

目標の100校に着々 グローバルに広がる

前回55号では新たに5つの協定校が加わり、大学の海外協定校が15カ国・地域、50校に拡大したことをお伝えしましたが、以降新たに11大学との間に交流協定が結ばれ、平成25年10月現在、19カ国・地域61校となりました。新しく加わった国・地域はマレーシア、シンガポール、フィリピン、ブラジルです。

特に新たに協定校となったサンパウロ・カトリック大学があるブラジルは、本学にとって初めての南アメリカの協定校で、さらに地理的な広がりをもたらしてくれています。これら新規11校の協定校のうち、アメリカの2校を紹介し、その名前が示すとおりアメリカ、その名前が示すとおりアメリカ、その名前が示すとおりアメリカ

リカのほぼ中央に位置するネブラスカ州の大都市カーニーにあるブラジルは、治安が良く、物価も安いので暮らしやすい土地です。キャンパス面積は東京ドームの45倍あり、50以上の建物からなります。学生の大半は州内から入学している一方、40以上の国から留学生を受入れていきます。ターレトン州立大学は、ネブラスカ州の南、メキシコとの国境に接するテキサス州にありま

大学名	国名	特記事項
1 HEL.P University	マレーシア	1986年創立。学生数約9,000人の私立大学。授業での使用言語は英語で、海外80カ国から約1,500人の留学生を受入れる。
2 マラ工科大学 Universiti Teknologi Mara		1956年創立。約170,000人の学生が多数のキャンパスで学ぶ。24学部、2研究所に312のプログラムがあり、すべて英語で授業が行われている。
3 ジェンデラル スティルマン大学 Jenderal Soedirman University	インドネシア	1963年創立。学生数約26,000人の国立大学。日本語学科があり、将来は日本語教師、日系企業への就職を希望する学生も多い。欧州、北米、アジア他25大学と大学間協定を締結。
4 ナンヤン・ポリテクニクビジネスマネジメント学部 Nanyang Polytechnic School of Business Management	シンガポール	1992年創立。学生数約16,000人の国立大学。ビジネスマネジメント学部では、最長1年の海外大学との交換留学を実施している。
5 アクラン州立大学 Aklan State University	フィリピン	1917年創立の国立大学。バンガキャンパスには学内関係者以外でも利用できるプール、寮、大学ホテルが設置されている。
6 同済大学外国語学院 College of Foreign Languages, Tongji University	中国	1907年創立。学生数約26,000人の国立大学で、外国語学院には約750人の学生が学ぶ。中国語と関連科目の他、英語学科に在籍し、英語を履修することも可能。
7 順天郷大学 Soonchunhyang University	韓国	1978年創立。学生数約12,000人の私立大学。キャンパスに「順天郷English Village」を置き、英語と国際感覚が身につけられるように、英語圏からの留学生と共に生活する学生寮を建設。
8 中華科技大学 China University of Science & Technology	台湾	1967年創立。学生数約9,500人の私立大学。科学技術専門知識を持つグローバル人材の育成と大学の国際化を目指し、北米、オセアニア、アジアに協定校20校を有している。
9 ネブラスカ大学カーニー校 University of Nebraska at Kearney	アメリカ	1905年創立。学生数約7,200人の州立大学。本協定では同大学の英語教育機関English Language Institute (ELI) への学生受入れ (Visiting Student Program) が明記された。
10 ターレトン州立大学 Tarleton State University		1899年創立。学生数約9,000人の州立大学。学部では60以上、大学院では20以上の研究分野がある。19カ国からの留学生が学んでおり、キャンパスのグローバル化を進めている。
11 サンパウロ・カトリック大学 Pontificia Universidade Católica de São Paulo	ブラジル	1946年創立。学生数約20,000人の私立大学。2009年、2010年にはサンパウロ州の最優秀私立大学、またブラジル全体では優秀大学第2位の私立大学に選ばれている。



Widdfield Secondary Schoolの生徒や本校交換留学生たち。右から5人目が内藤さん

カナダでの生活は、今までにないほど一日一日が大切で、経験するすべてが学びでした。ホストファミリーとはよく一緒に料理をしたり、映画を見たりしました。ドリームキャッチ

経験の全てが学びだった
光景を目の当たりにし、見習うべきことが多くありました。私自身、以前より積極的に物事に取り組むようになったと思えます。この4週間は、自分の言動を改めて意識する機会となりました。想像していた以上に苦勞もありましたが、とても貴重で充実した時間でした。このような機会を与えてくださった方々に、本当に感謝しています。ありがとうございました。

奥田政三教育・研究基金 来京へはばたく奨学生

私は、12年9月から13年の6月まで、台湾の中国文化大学留学し、台湾の中国語の勉強に励みました。授業の中で印象に残っているのは「高級文章読解」という授業。主に文章を書く練習です。自分で書いた文章を読み、文章と発音の間違いを直してもらおうというもので、先生はとても厳しく本気で正しい発音を言えるまで合格できません。でも、そのお陰で正しい発音が身に付きま

月までの10ヶ月間、台湾の中国文化大学に留学しました。授業の中で印象に残っているのは「高級文章読解」という授業。主に文章を書く練習です。自分で書いた文章を読み、文章と発音の間違いを直してもらおうというもので、先生はとても厳しく本気で正しい発音を言えるまで合格できません。でも、そのお陰で正しい発音が身に付きま

見識を広げられ感謝
台湾・中国文化大学留学 就活に生かしたい
留学レポート
掲げた協定校100校に向けてますます世界に向けて行動範囲を広げて行きます。(国際交流センター課長代理 松岡 泰司)

大学留学生紹介 本学への留学生たち

国際大では、さまざまな国の留学生が学び、在学生たちにとっても異文化を学ぶいい機会となっています。卒業後は、国際大で学んだグローバルマインドを糧に、母国と日本の架け橋となって活躍してくれることでしょう。そんな留学生たちの中から7人を紹介します。(コメント ①日本で学びたいこと、やってみたいこと ②将来の夢や目標 ③趣味・特技 ④自己PRやひとこと)

枚方キャンパス留学生別科 (トルコ) **ELKIRAN ILHAN** (イルハン・エルクラン)

①日本語と人間科学で心理学を勉強したい ②トルコへ帰って有名な会社で働いて社長になること ③サッカー、ボクシング、旅行 ④いつも頑張ってプロになりたいです。私はいい地位を得るために目標を持っている人です。

枚方キャンパス留学生別科 (米) **CANLAS PATRICK** (カンラス・パトリック)

①日本語と日本の歴史と日本の美術を学びたい。京都のお寺に行って、温泉へいきたい。その上に日本人と友達になりたいです ②目標は日本語が上手になることです ③趣味は絵を描くことと空手をすることです。本を読むことも好きです ④残りの学校生活を楽しくしています

ビジネス学部経営デザイン学科 3年次生(中国) **李麗群** (リリガン)

①日本の文化とマナーを学びたい。富士山に登ってみたい ②仕事で成功すること ③旅行とスウィミングに興味があります。私は高齢者にも幼児にも年齢を問わず、気持ちのよい対応ができます ④私は明るく前向きな性格が自慢です。人見知りもなく、人の意見を聴くことができます。私は頑張れば成功できると信じています

枚方キャンパス留学生別科 (英国) **NELSON JACOB** (ネルソン ジャコブ)

①大阪や日本の美しい風景を学びたい。休みの時間を活用して色々な所、例えば北海道や福岡に行きたいです ②目標は、大学を卒業した後にお金を貯めて世界を旅行したい ③趣味はギターを弾くこと、音楽を聴くこと、ラグビーとサッカーをすること ④日本に来たのは初めての事です。ホームステイ家族からたくさんのお話を聞きました。私は日本に住んでみたいです

ビジネス学部経営デザイン学科 1年次生(ベトナム) **LE THI LE** (レ ティレー)

①まずは日本語がもっと上手になりたい。簿記1級の資格もとりたい。地域の方々にランチを作るボランティア活動に参加して、親戚の作り方も覚えたい。社会の色々なことを体験したい ②もっと英語を勉強したい。友人と共同で会社や店を興してビジネスマンになりたい ③新しい料理を勉強しています。旅行が好きでやっていたことには何でも積極的にチャレンジします

守口キャンパス留学生別科 (タイ) **MORAKOT WANIDA** (モラコット ワンダー)

①いろいろな所に旅行したい。北海道とか東京とか行きたいです。日本でたくさん友達を作りたいです ②タイで日系企業に働きたいです。もう一つは、日本で美術について勉強したいです ③写真を撮ること。景色や人々をよく撮ります ④半年でたくさん経験、挑戦したいです。どうぞよろしくお祈りします

国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科1年次生(ベトナム) **TRAN THIEN QUYEN** (トラン ティエン クェン)

①留学力とともに、さまざまな国の文化や歴史や政治や経済などを学びたい。幅広い知識を身につけることです ②将来的にはグローバルに活躍できるような、仕事に就きたいと考えています。近年、日本とベトナムの人的交流や経済交流が盛んになってきました。両国の橋渡しをしたいと思っています ③趣味は本を読むこと、音楽を聴くこと、旅行をすることです

更に様々な所へ旅行に行きました。中でも一番印象に残っている場所が、緑島という台湾の離れ島です。旅行に行く余裕が出来たのも、奨学金があったからだと思っています。奨学金をいただけたお陰で見識を広めることができました。私はこの留学生活でかけがえのない友達、様々な考え、中国語能力を得ることができました。この留学を生かしてこれからの就職活動も頑張っていきたいと思っています。このような体験をさせてくれた両親、大学、そして奨学金制度に感謝します。本当にありがとうございました。

地域連携ニュース

2013年4月～2013年10月

- 4月 大学 土居商店街の外国人ツアーイベントに本学から34人が参加
法律政策学科の田中 優准教授ゼミ生がまちづくり学習会にて報告
- 5月 大学 法律政策学科 田中 優准教授ゼミの活動が『おうみはちまん広報』に掲載
スポーツ行動学科 新村由恵准教授主催『健康支援教室』スタート
大学・短大 ボランティア活動研究会、『守口門真わんぱく相撲大会』に6人が参加
大学 「ひと・まち・つくる」プロジェクトが「お花見イベント」で地域貢献
大学 “茶摘に挑戦!” “ひと・まち・つくる” プロジェクトin南山城村
大学・短大 守口体育会、自転車マナーアップキャンペーンに参加
- 6月 短大 幼児保育学科 朝倉 洋教授が寝屋川市民管弦楽団定期演奏会で指揮
滝井 吹奏楽部が「プレミスト守口梅園 第1回こどもまつり」で演奏
大学 くまもん&キャプテングロービーが学生たちと菅原神社の祭りに参加
大学・短大 女子サッカー部が女子サッカークリニックを開催
- 7月 短大 2013 地域共催 イベント ～考えよう!食と健康～を開催
七夕伝説発祥の地で星に願いを込めて「ひと・まち・つくる」プロジェクトの地域づくり～
大学・短大 ボランティア活動研究会が「七夕キャンドルナイト2013」(門真市)と「キャンドルナイトの夕べ」(枚方市)に参加
大和田中高 吹奏楽部「ふれあい大久保祭り」出演
- 8月 大学・短大 地域協働センター主催サマースクールを実施
大学・短大 学園 南山城村との地域連携協力に関する協定を締結
大学・短大 ワールドサッカークリニックを開催
大学・短大 留学生による小学校でのボランティア活動を実施
大学・短大 ボランティア活動研究会 砂子小学校校区夏祭りに参加(門真市)
大学・短大 留学生が紹介する「ベトナムってどんな国」40人が参加
大学・短大 ESSが「寺子屋ゆうゆう～英語教室」を実施
大学 情報デザイン学科 福田真規夫教授と大学院 堀岡久喜さんが門真市子ども理科講座「ノーベル」でのロボット教室で講師
- 9月 大学・短大 寝屋川池の里クラブ小学生陸上教室で陸上競技部 小倉幸雄顧問が指導
大学 人間健康科学科の学生が中高年対象「健康カフェ～Mori Mori」オープン
大学・短大 「てるてる寄席スペシャルコンサート」アコースティックギター部・コーラス部が参加
大学・短大 守口門真商工会議所主催 職場体験プログラムに5人の学生が参加
大学・短大 寝屋川青年祭に学生チャレンジ制度採択企画「マジックを活用して挑むOIUと地域の活性化」の学生が出演
大学 寝屋川市広報紙の学生レポーター 杉原 慧(けい)さんの記事が「広報ねがわ」に掲載
- 10月 大学 もりぐち歴史館「旧中西家住宅」観月の夕べ、第1部に学生によるマジックなどの出し物
大学・短大 平成25年度「もりぐちeセミナー」「輝く私になるために」をテーマに開催
大学・短大 平成25年度「大阪国際大学教養講座」を開催
大学 学生チャレンジ制度「もりぐち歴史館」から地域に賑わいを!のチームが「観月の夕べ」に企画参加
大和田中高 吹奏楽部、げんき屋デイスサービス守口に訪問演奏
大和田中学 小学5～6年生対象 ハロウィンパーティーを開催
大学 留学生がアルゼンチンを紹介する「地球のウラからこんにちは」を開催

広範な地域振興・活性に照準

守口門真商工会議所 × 学園・大学・短大



7月1日、守口門真商工会議所と学園の包括連携・協力に関する調印式が同会議所で行われた。調印式で同会議所の大本郁夫会頭は「互いのノウハウを活用し、地域経済の相互発展、そして学生の若い力を街づくりに活かして、守口門真が活性化することを強く期待している」と述べ、学園の奥田吉朗理事長は「企業の皆様にも協力いただいで、学生たちが生きること、働くことを実践を通して学ぼう願っている。今回の協定で、私たちが守口門真の発展の一翼を担うことができれば幸いです」と挨拶した。

また、8月5日には、京都府南山城村役場において南山城村と学園・大学・短大の包括連携協定に関する調印式が行われた。同村とは、2008年のインターシップ受け入れをきっかけとし、今日まで5年にわたる連携・交流を行ってきた。特に地域との交流については、村づくりフィールドワーク、村内での民泊、地域の仕事や生活体験等を実施し、それぞれ課題や解消法に係る提案・意見交換を地域等に行ってきた。また同村高尾地区では地域と学生が地域活性化について話し合う場「高尾会議」を開催。学生が主体となってプチ祭りや田植え体験、大学での朝市等を通じて他地域との交流機会を創出している。

包括連携
協定締結

協働の絆に、将来切り拓く

学園および大学・短大は、守口門真商工会議所、京都府南山城村と新たに包括連携協定を締結した。協定により、それぞれ地域商業や産業の振興及び育成に関すること、まちづくり等の地域振興に関すること、人材の育成に関すること、またこれらの目的を達成するために必要な連携・協力を進めることなどを約束し、さらなる互いの発展に寄与できるよう、両者が一体となって活動に取り組んでいくことを誓った。

大本会頭 ノウハウ活用で街づくり 手仲村長 若い力、感性発揮を期待

7月1日、守口門真商工会議所と学園の包括連携・協力に関する調印式が同会議所で行われた。調印式で同会議所の大本郁夫会頭は「互いのノウハウを活用し、地域経済の相互発展、そして学生の若い力を街づくりに活かして、守口門真が活性化することを強く期待している」と述べ、学園の奥田吉朗理事長は「企業の皆様にも協力いただいで、学生たちが生きること、働くことを実践を通して学ぼう願っている。今回の協定で、私たちが守口門真の発展の一翼を担うことができれば幸いです」と挨拶した。



自らの地域振興・貢献活動についてまとめ、熱く語る学生

地域貢献、振興熱く語る

「地域協働センター」の活動報告会

6テーマ 8人発表 自らの経験を分析し

大学・短大地域協働センター活動報告会が7月21日に守口キャンパスで開催されました。来場者は、学内外あわせて112人で、来場者全員が、各発表を真剣に聴き入り、さらに活発な質問や感想も多くいただきました。非常に盛況でした。

学生による「地域貢献・振興」活動の報告発表は6テーマで、計8人の発表がありました。それぞれ25分という持ち時間の中で、指導教員の進行により発表し、自らの地域振興・貢献活動で得た経験を分析し、熱く語ってくれました。

また、会場前には、ポスター発表会場が設置され、10チーム(個人参加含む)が参加し、守口・枚方両キャンパスの学生達

見交換を地域等に行ってきた。また同村高尾地区では地域と学生が地域活性化について話し合う場「高尾会議」を開催。学生が主体となってプチ祭りや田植え体験、大学での朝市等を通じて他地域との交流機会を創出している。

調印式では手仲村長が「学生との活動を通して、村民

と村の関係に変化を感じる。今後も学生の若い力、感性を發揮して、村の活性化に努めていきたい」と挨拶され、北川俊光学長は「学生が現場に出て学ぶことの意義と、自然豊かな南山城村には将来性がある。村と大学が続く限り連携していきたい」と挨拶した。調印の後、同村で活動してきた「ひと・まち・つくる」プロジェクトの現代社会学部法律政策学科 三登康太郎さん、松田達磨さんが「大阪国際大学と京都府南山城村」包括連携協定を結ぶまでの歩みとこれから、同村産業生活課 魅力ある村づくり推進室 本健次氏が「京都府南山城村」域学連携イメージ」と題して、それぞれ発表を行った。

有識者を招き、各発表において、地域と大学の連携による新たな可能性と今後の地域・貢献活動の方向付けを明示いただき、今後の地域協働センターの方針づくりに役立つ内容となりました。

アンケートでは大変積極的な意見をいただき、また地域と大学との連携・協力が今後も発展していくよう、地域協働センターとしての課題も多くいただきました。

今回の参加学生達の積極的な地域活動を今後も継続させ、地域との絆(きずな)をさらに発展させていく土台づくりを行うことが、地域協働センターの使用と感じています。

(地域協働センター)長 世戸 俊男

- ▼増田 翔
- 第50回大阪府八歯の保健V
- 図画・ポスターコンクール
- 入選V 毎日新聞社賞 ゆり組(年長) 工藤優菜V大阪府歯科医師会会長賞 たんぼ組(年少) 古賀菜々花
- 入選V あやめ組(年長) 大塚あかりV小原燈歩Vゆり組(年長) 鈴木瑠七Vすみれ組(年中) 植野公太Vたんぼ組(年中) 植野公太V渡辺瑠子
- 本真汰V渡辺瑠子

未就園の子どもと保護者に 幼稚園が園庭開放 在園児とダンスなど楽しむ



幼稚園初体験の子どもたちを、お兄ちゃん・お姉ちゃん園児もあたたかく迎えるトドラーデー

幼稚園では、第2、4木曜日(個人参加含む)が参加し、守口・枚方両キャンパスの学生達

幼稚園では、第2、4木曜日(個人参加含む)が参加し、守口・枚方両キャンパスの学生達

幼稚園では、第2、4木曜日(個人参加含む)が参加し、守口・枚方両キャンパスの学生達

使って色水遊びをしたり、夏にはスノーボールすくいなどの水遊び、秋には木の実や落ち葉を使っての製作遊び、冬にはクリスマスにちなんだ製作遊びなど季節を感じながら遊ぶことができる場を提供しています。

また、在園児とダンスや体操、なおよし遊びを一緒にして、楽しめる活動も取り入れています。

平均40人ほどの参加があり、毎回楽しみに来てくださる方もおられます。その中で、幼稚園に対する質問や子育てに対する相談などにも随時お答えし、地域の子どもの子育て支援の一翼を担っています。

(教諭 高嶋 麻実)

アイデアと独自性 発信

採択企画の5報告 応募17件、採用9件

学生の優秀なアイデアや企画に奨励金をつけて支援する「学生チャレンジ制度—Challenge The Global Mind—」。毎年、学生たちが、チャレンジしたい内容を企画書にまとめ、最終審査ではプレゼンテーションを行い、独自性や実現性が認められれば奨励金の授与と活動のバックアップを大学が行うというものだ。

この制度を通して、様々な壁を乗り越えながら企画を実現していく学生たちの成長ぶりは、めざましいものがある。

第9回目の今回は、17件の応募のうち、次の9件が採択され総額約354万円の奨励金が授与されることになった。金額については、最終的な報告段階で査定が行われ、支給される。今号ではそのうち、5件の代表者から中間報告をもらった。

企画テーマ	査定金額
おおさかのベジもんを大学で！～大阪から全国、そして世界へ～	305,000
都市住民（外部人材）との交流による地域活性化	480,000
Woody Campus OIU ～自然への憧憬を間伐材による木の音で～	453,447
胃袋でつなぐインドネシアと日本	450,000
マジックを活用して挑む OIU と地域の活性化	500,000
サイコロジーでお化け屋敷 ～極上の恐怖をお届けします～	320,000
新たな発見と守口・門真の魅力に迫る ～トレジャー・ハント オブ OIU～	310,000 【同窓会特別賞】
“もりぐち歴史館”から地域に賑わいを！	500,000 【同窓会特別賞】
健康カフェ ～MoriMori～（守口）	220,000 【地域連携賞】

第9回「学生チャレンジ制度」

恵と伝統の味を若い人たちがや留学生、外国人観光客にも普及し

過疎村の価値で未来を拓く

ふるさとの魅力を世界発信

企画名 「都市住民(外部人材)との交流による地域活性化」
団体名 「ひと・まち・つくろ」プロジェクト
執筆者 三登 康太郎(現代社



大学近隣の菅原小学校生たちを村に招き呼び体験。様々な企画を学生たちが継続して行っている。

ていきたいです。

時代を超えてなお輝きを増す「なにわ伝統野菜」。世界が日本のカルチャーに注目している今、大阪の伝統野菜と食文化の魅力の世界に発信するため、更なる挑戦をしていきます。

さらに、村の荒地を手作業で畑に蘇らせ、菅原農園を拓きました。

また、村は世界に誇る宇治茶の産地でもあるため、外国人観光客や留学生を招き、日本の洗練された産物・文化・伝統の体験イベントも開催していきます。

過疎地を魅力ある村に蘇らせるには多くの課題があります。しかし、都会と村のコミュニティをつないで解決を図り、社会や世界に新しい価値観を創ることに挑戦し続けます。

「都市と村をつないで、南山城村を魅力ある村にした！」。都市には無い、過疎の村の価値や資源を私たちワカ者、ソト者の視点で発掘し、京都府唯一の村「南山城村」を、日本で唯一の「魅力ある村」に再生させたいという熱い思いで企画を立ち上げました。

活動は「ひと・まち・つくろ」プロジェクトのメンバーが要となり、大学が位置する菅原東小学校区と南山城村の住民同士がつながる仕組みを創っています。例えば、大学近隣の児童を村に招き田植えや収穫体験の開催。

人と自然の関係性をアナログの側面から見直し、「自然へのあこがれ」を映像で社会に表現したい」という思いで企画を作りました。

まず、模型作りでは計画どおり進んでいたのですが、実施段階で思いがけない壁に当たりました。それは、湿度による木材の微妙な変化、木琴の響き、計算の斜面での足組み構築の計算などが多くありました。そこでの気付きは、初めから現場でメンバーと共に自然を感じ、共に意見を出し合い解決を図ることの重要性でした。

今後は、実物の完成と映像を英語版・中国語版で作成し、「もりのつくり」で表現した「自然への憧憬」を世界に発信し、世界の人々との新しいつながりの構築に挑戦したいです。

幻のなにわ伝統野菜と 食文化の魅力の世界に

(次生)

企画名 「おおさかのベジもんを大学で！～大阪から全国、そして世界へ～」
団体名 ベジもんプロジェクト
執筆者 窪田 文(ビジネス学部 経済ファイナンス学科3年)

「京都の伝統野菜といえば京野菜。私が育った大阪にも伝統野菜があるのでは？」。野菜好きの私の疑問が企画のきっかけでした。そして探し続けて、100年の歴史を持つ隠れた逸品「なにわ伝統野菜」を発見。それからは「この幻の野菜を現代に蘇らせたい」という目標を持ち、育成方法と「ベジれっばん」(レシピ本)作成の計画を立てました。

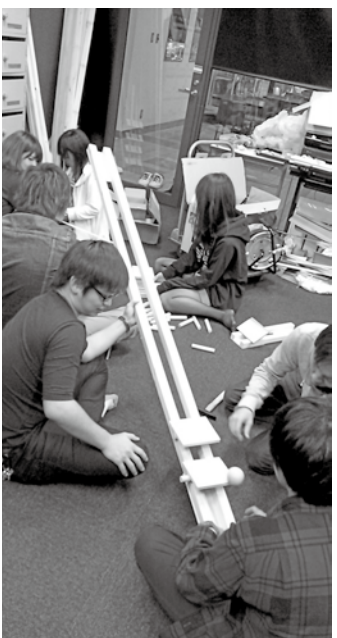


ベジもんプロジェクトでは、枚方キャンパスの一角で、なにわ伝統野菜を育成中。

6月に鳥飼茄子と勝間南瓜を植え7月に収穫。9月から学内に畑を作り、天王寺蕪・大阪しる菜・泉州黄玉葱・守口大根などの種植え。収穫の頃には地域の子供たちを招きイベントの開催や、数カ国語でレシピ本を作

森の合唱団 木琴が奏でる 自然へのあこがれを映像表現

企画名 「Woody Campus OIU
～自然への憧憬を間伐材による木の音で～」
団体名 情報デザイン学科稲泉セミナー
執筆者 花田 賢洋(現代社会学部情報デザイン学科 3年次生)



全長20mの木琴完成をめざし、模型を作成して試行錯誤を繰り返すメンバーたち

「枚方キャンパスの林の斜面に、全長20m、200段の木琴を作り、自然への憧憬を、木琴を転がる玉のメロディで映像表現したい」。そして、キャンパスの自然の美しさを世界に発信したい。デジタルが主盛の社会で、

大震災などの大規模災害に備えるもので、帰宅困難者や救出・救護のための必要な資材や物資など48品目が備蓄されています。

食料品・水は、保存期間を考慮し、それぞれ予定数量の半分などにプレセント



大和田校地に設置された防災倉庫

大震災などの大規模災害に備えるもので、帰宅困難者や救出・救護のための必要な資材や物資など48品目が備蓄されています。

食料品・水は、保存期間を考慮し、それぞれ予定数量の半分などにプレセント

大震災などの大規模災害に備えるもので、帰宅困難者や救出・救護のための必要な資材や物資など48品目が備蓄されています。

食料品・水は、保存期間を考慮し、それぞれ予定数量の半分などにプレセント

学園ニュース

2013年4月～2013年9月

4月

滝井 交換留学生奨学金授与式
大学 「リビング」母の日に贈る一品「特集に人間健康科学科の喜多野宣子准教授が登場」
短大 原 晃一郎元教授が春の叙勲で瑞宝双光章を受章
滝井 ダンス部が「大阪ベイエリア祭」に参加
大学・短大 男子硬式テニス部、チャリティーテニス
レッスンをサポート
大学 タイのStadium(スイパトゥム)大学との大学間協定書調印
短大 ライフデザイン総合学科 海外インターンシップ(カナダ)報告
大学 「食でつなごう日本と世界」～人間健康科学科伊藤知子教授のセミナーⅢ
IVで食育講座「大阪を見学」
大学 人間健康科学科 山口直範准教授が「きずな交通安全ナビ」(BS-TBS)に出演
大学・短大 インドネシアデリアン・ヌスワントロ大学学長一行が訪問
大学・短大 TFTプロジェクトで1,050食分の給食費をアフリカの子どもたちにプレセント

5月

滝井 ESS Welcome Party
大学 学生広報プロジェクト説明会
大学 人間科学部スポーツ行動学科 井上芳光教授、NHK総合「あさいち」、朝日放送「キャスト」に出演
大学 FMIHANAKO 82AMHz「もりかど探偵団」お酢」特集で人間科学部スポーツ行動学科西岡ゆかり准教授がコメント
大学・短大 TFTメニュー第2弾「世界の友好メニュー」(ホットドック)、枚方キャンパス学食に登場
大学 人間健康科学科 平成24年度優秀賞の卒業論文「東日本大震災後のボランティア活動時の大学生の食生活実態調査」を日本家政学会で発表
滝井 芸術鑑賞「学校寄宿」大学・短大 体育会主催 新入生歓迎会開催

6月

大学・短大 ESS 留学生歓迎BBQ
大学 「グローバルビジネス学部」開設記念シンポジウム
大学 交換留学生のシエブネム・ゼンギンさん(トルコ・エルジェス大学)「第54回外国人による日本語弁論大会」出場
大学・短大 女子サッカー部 上海女子選抜(U-18)と国際親善試合
大学 スポーツ行動学科卒業生 戸谷真理子さん、陸上日本選手権で7位入賞
大学 学生企画「コミュニケーション・カフェ」がスタート
学園 守口キャンパス1号館解体工事 安全祈願祭
大学 国際コミュニケーション学部 博物館実習事前見学会で滋賀のミュージアムを見学
短大 ライフデザイン総合学科「地域と観光演習」鳴門フィールドワーク
大和田中高 吹奏楽部・大和田幼稚園音楽会に出演
大学・短大 たこやきパーティーで留学生交流会
大学 学内クイーンアップ活動「文化会主体による学内清掃・美化意識啓発活動」
滝井 国際科「日本文化英語プレゼンテーション」
大学・短大 学園 教員採用テスト受験者のための「模擬集団面接研修会」実施
大学 第1回「けやき市(朝市) Concert
大学・短大 カンボジアボランティアワークキャンプ研修、外務省「日カンボジア友好60周年記念事業」に認定
大学・短大 大阪府教育センター附属高等学校と高大連携調印式
大学・短大 高校生対象の課外特別体験プログラムを実施
大学 ビジネス学部経済ファイナンス学科「SMBCコインシエマーファイナンス株式会社による特別講義」
大学 第29回「フュージョン」大会 ポスターを本学学生がデザイン

7月

大学・短大 大阪府教育センター附属高等学校と高大連携調印式
大学・短大 高校生対象の課外特別体験プログラムを実施
大学 ビジネス学部経済ファイナンス学科「SMBCコインシエマーファイナンス株式会社による特別講義」
大学 第29回「フュージョン」大会 ポスターを本学学生がデザイン

次頁へ

現地食材で日本料理レシピ

協定校学生と国際交流

企画名 「胃袋をつなぐインドネシアと日本」
 団体名 「人間健康科学科 喜多野宣子ゼミ」
 執筆者 中西 翔大(人間健康科学科3年次生)

「大学の制度を利用して何か大つきなことをしたい」というのが動機でした。日本食材の主な輸入元ながら、相互理解が進んでいないインドネシア。食

で国際交流をと、現地食材で「インドネシア風」日本料理のレシピを協定校学生と共同開発、現地のフードフェスティバルへの提供を企画しました。
 周囲の期待、提供する日本人としての責任というプレッシャー、限られた時間に解決すべき問題が山積、「こんな企画しなかつたら良かった」と何度か思いました。
 プロジェクトは無事終了、レシピは大好評で、現地では怒涛の1週間、異国の人でも何かを成し遂げられることを確信しました。「ハラル」など厳格なイスラム教の戒律を理解し、現地でも用いているレシピを考へる。両国の学生をまとめるのは容易ではありませんでしたが、目標達成時には大きな感動が待っていました。気持ちがあひつにならば何でもできる。現場でまさに両国の「胃袋がつながった」のです。
 こんなつながりをもっと多くの人に体験して欲しいです。この経験をもとに、今後サポート役として活動の場があればと考えています。

和風カフェなどイベント

「地域に賑わいを」と展開

企画名 「もりぐち歴史館」から地域に賑わいを！
 団体名 「semi.91」
 執筆者 植松 亮太(人間心理学 心理コミュニケーション学 3年次生)

「私たちが心理コミュニケーション学3年次生の「semi.91」は、『もりぐち歴史館から地域に賑わいを』というテーマで10

月から12月にかけてさまざまなイベントを展開しました。1回目は10月5日、もりぐち歴史館と共催で行い、私たちのイベントを第1部として、マジックショー、アコースティックギター部による演奏、和風カフェの実施をしました。
 また第2部には従来のもりぐち歴史館で行われていたイベントであるクラリネットとクラ



インドネシアで現地の人とともに企画をやりとげたことは、大きな自信につながった

全日本選手権 健闘3位に

エース・石田「来年は優勝狙う」

国際大学女子ソフトボール部

大阪国際大学女子ソフトボール部は9月6日から10日まで大阪府交野市で開かれた第48回全日本大学女子ソフトボール選手権大会で、準決勝に進出し3位になった。2007、8年に連続準優勝して以来の快挙となった。

平洋大学短期大学部を4-3で、3回戦で、同選手権優勝の山梨学院大を2-1といずれも接戦で破った。
 準決勝は、前年優勝の園田学園女子大に1-7で敗れた。
 準決勝までの4試合をほとんど一人で投げ抜いたエースで3年次生の石田紗也佳さん(国際コミュニケーション学部)は、「来年は、チーム一丸となって日本一を目指す」と抱負を話していた。



地元大阪で開催された全日本インカレ3位に、笑顔の部員たち

クラブ活動



もりぐち歴史館の風情ある建物で、和風カフェを開いて来場者をおもてなした

大学・短大
 ワンダーフォーゲル部
 ・6/29 保津川スプリント 総合4位
 ダンス部
 ・9/16 「Campus Collection 2013」D-1ダンスバトル 優勝
 陸上競技部
 ・7/12/14 京都選手権 4000mH 6位 大畑佳那子(スポ行)
 ・7種競技4位 木下ななか(同1)
 ・7/12/14 兵庫選手権 砲丸投8位 中野江里子(同4)

春高バレー 全国大会出場決める

滝井高、2年ぶり18回目

滝井高校バレーボール部は、第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー)大阪府予選決勝ラウンド最終日の11月3日、舞洲アリーナ(大阪市此花区)で開催された準決勝に勝利し、2年ぶり18回目の全国大会出場を決めた。

戦したが敗れ、大阪第二代表となった。
 春高バレーは、東京体育館で来年1月5日から始まる。滝井高校は、過去1992年・1994年・2007年と3回優勝を果たし、一昨年は、準決勝まで進出したものの、兵庫県の強豪・氷上高校に敗れ、第3位となった。

「目標は予選突破ではない」と東方純主将ははじめとし、日本一を目指す滝井チーム。さらに成長をとげた底力を十分発揮してくれることを期待している。決勝戦では、金蘭会高校と対

また、10月26日と27日、11月2日と3日に襷絵の展示と和風カフェの開設、12月7日に国際コミュニケーション学部の高橋尚美先生によるワークショップ、15日にしめ縄づくりと今までの活動の写真展示、21日に同学科の村田隆志先生によるワークショップを開きました。

水泳部

・9/6/8 インカレ出場 50FR/100FR天野祐梨菜(人健)
 ・▽200FR 辻上明徳(同2)▽200FR/400FR 新井龍貴(同3)
 ・7/14 第29回泉北選手権 優勝 由木莉加(スポ行3)

滝井高校バレーボール部

・7/22 近畿高校優勝大会 優勝
 ・9/23 大阪私学総体 優勝
 ・8/12 高校・中学校 軽音楽系クラブコンテスト We are Speaker Ages予選会 優秀校賞(グランプリ大会出場権獲得)

大和田高校ソフトテニス部男子

・7/21 近畿大会個人戦出場 山本雄大(3)・前田和摩(3)
 ・9/21 新人大会(ブロック戦)優勝 由良和久(2)・瀬野智也(1)
 ・9/22 新人大会(ブロック戦)2位 村上絵里香(2)・雲林院舞子(2)

吹奏楽部

・7/29 大阪府吹奏楽コンクール 北地区大会 銀賞
 ・4/29 北河内春季大会 優勝
 ・7/27 大阪中学校優勝大会 3位

大和田中学バレーボール部

・9/22 北河内秋季大会 優勝
 ・9/23 大阪私学大会 3位
 ・10/13 大阪中学校秋季総体 準優勝

剣道部

・4/28 北河内春季大会 女子団体戦 優勝(4連覇)▽個人戦5位
 ・三島楓香(2)
 ・9/7 北河内秋季大会 女子団体戦 優勝

ソフトテニス部男子

・8/12 私学大会団体 3位

7月

大学 心理コミュニケーションゼミ
 由ラジオ放送局「FM5号館」開局
 短大 幼児保育学科が大阪府レクリエーション協会課程認定校交流会に参加
 大学・短大 大阪府立茨木西高等学校と高大連携調印式
 大学 卒業生で小説家の根本孝思さん、新刊「ミナゴロシ」発刊
 大学・短大 留学生が寺方提灯踊り大会に参加
 大学・短大 日本文化体験(お茶・琴)イベント
 大和田中高 NIE全国大会静岡大会にNIE実践指定校として参加
 大学・短大 オリジナル・パラリンピック招致委員会と連携協定
 大学・短大 学業優秀者表彰式
 大学・短大 奈良県立奈良朱雀高等学校と高大連携調印式
 大学・短大 平成25年度「Good Teachers賞」並びに「貢献度の高い教職員」表彰式
 滝井・大和田中高 軽音楽系クラブコンテスト We are Speaker Ages予選会に出場
 大学・短大 ワールドサッカーリニック
 大学・短大 ESS「第4回世界大学生リーダーシップシンポジウム」参加
 大学・短大 ノートテイク活動の前期振り返りミーティング
 大学・短大 留学生交流会 奈良バス旅行
 大和田中高 English Seminar 2013
 大学・短大 10年経験者研修の大学連携講座を実施
 大学・短大 大阪国体予選、走高跳で国際大ACの加藤洋平さん優勝、戸谷真理子さん2位入賞
 学園 第11回プロッサムコンサート
 大学 国際コミュニケーション学 渡邊公章准教授ゼミ、東北亜細光学会第3回大学生国際発表大会にて奨励賞
 大学 江角早希子さん(人間健康科学科2005年卒)、ダンス・エンターテ

9月

インメント作品コンテスト「Legend Tokyo」で演出家・振付家SAM氏の大会審査委員長賞と文科省日本ダンス大会特別選定賞を受賞
 大学 守口市現代南画美術館で本学学生がギャラリートーク
 短大 ライフデザイン総合学科 科観光・英語コース2年次生 藤井さよりさん、平敷佳純さん、「第2回産学連携オープンセミナー」in京都でポスター発表
 滝井 卒業生・渡邊玲奈さんが高専野球で「甲子園だけが高専野球ではない」のヒロイン役に決定
 短大 ライフデザイン総合学科、介護職員初任者研修を実施
 大和田高 野球部、悲願の公式戦初勝利、秋季近畿地区高校野球予選
 学園 大学・短大1号館新築工事 地鎮祭
 大学・短大 2012年度TFプロジェクトメンバーの何媛媛さん、新たな企画を立ち上げ、新メニューを販売
 大学・短大 ワンダーフォーゲル部、台風被害のたほりムリバー保津川(桂川)の復旧ラフティング
 大学・短大 ワンダーフォーゲル部 天竜川ホワイトウォーターフェスティバル出場
 大学 国際コミュニケーション学 山本玲子准教授の著書「子どもの心とからだを動かす英語の授業」(青山社)が大修館書店「英語教育」今年の収穫・厳選12冊」に選出
 大学・短大 PCノートテイク研究会
 大学・短大 東京国体ソフトボール成年女子府選手団に6選手
 短大 ライフデザイン総合学科 久保由加里ゼミ、産学連携オープンセミナーin京都でポスター発表
 滝井 中谷梨帆さん(3年生)、「第36回NLA presents ティーバックアップ Super Liveナキワラ! 2013」大阪府代表に選出

学びウォッチング

食生活指導演習 人間科学部人間健康科学科

食の大切さ理解、将来に生かせ

「幸福な暮らしは、健康な身体があってこそ」人間科学部人間健康科学科が、到達目標に掲げる大きなテーマで、これをまさに目指した授業が、3年次生対象の「食生活指導演習」だ。

午前中の1、2時限、180分をかけたロング授業で、「食生活学」が専門で奈良女子大学の博士号を持つ、伊藤知子教授が担当し始めて9年目になる。

学生それぞれの食生活を分析する

トの惣菜売り場、コンビニ、ステーキチェーン店、焼肉屋、カフェバーなどさまざま。観察時間は、午前7時から午後1時までと長い学生もいれば、昼時の1時間だけというケースもあった。

学生らは、それぞれに、訪れた人数や、注文、買った品、その量、年齢傾向、男女別などを報告、分析を交えて発表した。昼前でもあり、発表を聞きながら「おなか減った」という声もあちこちから聞こえた。



幼児食の調理に取り組み学生たち。一つが勉強の毎日だ。

ことから始め、健康であるためのカロリー、献立を考え、自分たちで調理もする。高齢化が進む社会にあって、生活習慣病にならないための食事のあり方なども考える幅広い内容になっている。受講者は男女合わせて10人と少ないが、それだけ個別指導も徹底できる。

見学させてもらったのは、3回目の授業で、学生がアルバイト先の飲食店などで、どんな人がどのようなものかを購入しているかを観察し、その傾向をパワーポイントにまとめて発表する「食行動観察」という内容だった。パソコンを使ってまとめ、みんなの前で発表することで、卒業研究の発表などの訓練にもなる一石二鳥を狙った試みだ。

調査対象は、世界規模で展開するコーヒーチェーン店、居酒屋、デパー

伊藤教授が、調査時の気温はどうだったかや、品物の値段など抜け落ちたデータを指摘して、分析に深みと厚みを出すように指導していた。少ないデータながら、女性と男性の店の利用の仕方の違いや年齢による買い物動向などが、具体的な数字で示されていた。

授業は、生活習慣病にならないための献立や、子どものおやつ、塩分を制限した食事などを考え、自分たちでも調理実習するほか、市販の介護食品であるユニバーサルデザイン食の商品評価も行う。

授業は民間資格の「食生活アドバイザー」を取るためにも活用できるが、伊藤教授は「学生たちが、自分の食生活を客観的に見つめて、食の大切さをしっかり理解して、将来に生かしてくれれば」と話していた。

女性の輝く未来シンポ

「しなやかな生き方」考える ゲスト、国際派4女史 参加者の刺激に…

積極的な意見交換

本学における女性の社会進出支援の第一歩として、「女性未来シンポジウム」女子高生生の輝く未来へ」が9月13日にグランフロント大阪で開催されました。

ゲストは日本IBM理事伊藤久美氏、プラン・ジャパン理事(元国連職員)大崎麻子氏、ア

ストラゼネカ執行役員野上麻理氏、Change.org日本代表ハリス鈴木絵美氏の4人。現代社会学部の谷口真由美准教授が司会進行を務めました。

それぞれの生き方・考え方を力強く、楽しく語るゲスト陣の姿には、まさに「しなやかな女性」という言葉がぴったりで、

(校方キャンパスセンター) 植田 朝子

「しなやかな生き方」考える

はじめは遠慮がちだった参加者にもそのパワーは伝播し、双方の積極的な意見交換が随所で見受けられました。

グローバルに活躍する女性と接することが女性たちへの刺激となれば、と企画された今回のシンポジウム。ゲスト陣の魅力あふれる手伝って会場は予想以上の盛り上がりを見せ、次回開催を望む声も多くいただきました。今後ぜひご期待下さい。

熱い思い、英語で競う

第1回高校生スピーチコン 優秀者に賞贈る

第1回全国高校生英語スピーチコンテストの本選が、10月19日、大学守口キャンパスで行なわれた。多くの応募者の中から激戦を勝ち抜いた11人の高校生が、それぞれの熱い思いを英語でスピーチした。

予選は9月に行なわれ、当初

大学が想定した以上の応募があり、どの応募者も甲乙付けがたい内容で、本選出場者を選出するに当たっては困難を極めた。しかし、その中から選出された生徒たちであったため、本選大会は非常にレベルの高い大会となった。その記念すべき第1回

武田 晃喜さん このコーナーでは、スポーツや文化活動、資格取得、様々な課外活動で成果をあげた学生たちの喜びの声を紹介する。

26年度「全総文」選出 大阪代表に本校で初



記念すべき第1回入賞者と本選に出場した高校生たち

大会の1人目の発表者は、森千果さん(帝塚山学院高等学校)



1年)。彼女のスピーチを皮切りに、総勢11人のファイナリストたちによる素晴らしいスピーチが展開された。

そして、栄えある最優秀賞(Global Mind賞)を獲得したのは、田村かれんさん(国立神戸大学附属中等教育学校)兵庫

は、表彰楯、賞状および副賞が贈呈された。優秀賞(Honorary Challenge賞)は、都築勇祐さん(私立甲陽学院高等学校)兵庫

明会では学校概要や来年度入試の説明を聞いていただいた後、在校生が学校案内をするなど生徒の生の姿を見ていただきました。

楽しかった…感想 授業見学会も盛況

滝井高校では、8月25日と10月27日の計2回、オープンスクールを実施しました。第1回はあいにくの大雨でしたが、たくさんの方の来場いただきました。

本校のオープンスクールでは、その運営等を全て生徒が行っており、本校生と直接触れ合った中学生の皆さんからは「楽しかった」というたくさんの方のアンケートをいただきました。

続いて、10月27日と11月17日には「入試説明会」を実施しました。2回とも昨年度を上回る250組以上の生徒・保護者が参加し、メモリアルホールで学校概要や入試説明、卒業生による学校紹介を実施しました。

イベントも多彩に

400人を越える中学生や保護者の皆さんが集まりくださいました。

大和田中学の「オープンスクール」は、7月20日に開催。昨年度の84組を大きく上回る155組の児童と保護者が参加、吹奏楽部の生演奏によるオープニング、ファッショ

大和田高校の「オープンスクール」は、9月14日に開催。昨年度の281組を大きく上回る350組の生徒と保護者が参加、吹奏楽部の生演奏によるオープニング、ファッショ



滝井高校オープンスクールのイングリッシュ・カフェの様子



在校生も小学生たちをサポートした中学オープンスクール

大和田高校2年生・美術部「ソラリアゲマシヨウ」という彫刻作品で、第62回大阪私学美術展(7月)立体部門1位・総合4位で館長賞を受賞、文化部のインターハイと呼ばれる全国高等学校総合文化祭に本校で初めて出場することに。

さらにも上を目指し作品制作

今冬の大会に向けて彫っているウサギを完成させること。美術部として出る大会には欠かせず出品して、もっといい作品が作れるようになりたいと思います。

大和田高校 吹奏楽部の生演奏 入試対策の講座も

「自分の作品がこんなに大き

大和田高校の「オープンス

大和田高校の「オープンス

大和田高校の「オープンス

大和田高校の「オープンス

BOOK

- ◆新刊 国際大・短大 2013 現代宗教 講師 渡邊太 共著
- 「はじめての「マーケティング」1年生」国際コミュニケーション研究 宮崎哲也 著 明日香出版社
- 「英国学派の国際関係論」国コミ講師 佐藤史郎 共著 日本経済評論社
- 「BIG DIPPER ENGLISH Communication II」(高等学校外国語科英語コミュニケーションII教科書) 国際コミュニケーションII教科書 著 数研出版 Peter Hawkes 共著
- 「中国語初級テキスト 実学実用 漢語起步」国際コミュニケーション 著 黄志軍 著 白帝社
- 「体温・体温調節システム」の適応(韓国語版) 国際大 著 井上芳光 共著 文芸社
- 「没後50年 松林桂月」国コミ講師 村田隆志 監修 神戸新聞社
- 「ジェンダーとセクシュアリティ」現代社会に育つまなざし」大学・短大就職部 宮崎ケイテイ(啓子) 共著 昭和堂
- 「Three 話」その10 チョー! 改訂新版」橋本喬木(光央) 信光印刷出版部
- 「大和高校 デュアルスコップ総合英語」教諭 和泉 爾 共著 数研出版
- 「理解しやすい高校英語コミュニケーション」英語I・II 教諭 和泉 爾 著 文英堂

学生募集広報を積極展開

資料請求者が15%増

前年度比

特待生制度 高い評価受ける

平成26年度学生募集は、次年度開設予定のグローバルビジネス学部との告知と、受験生の経済的負担を取り除くべく、新しい減免制度や奨学金の導入という施策を打ち出し、スタートを切った。授業料を原則全額減免

その結果、本学への全資料請求者は昨年度比15%増となり、受験対象の3年生も50%の増加となった。この請求者を元に個別DMや高校訪問などで、推薦や一般入試で出願まで結びつけていきたい。

また、募集広報の面では、年初から新学部を中心に受験雑誌や受験サイトに告知広告を出稿し、特にオープンキャンパスへの動員を図るため、京阪電車での中吊り広告や京橋駅ホームを本学広告で占拠した「京橋ジャック」、阪急梅田駅からJR大阪駅へのムービング

26年度 大学・短大

ウォーク横の大型広告ボードなどの交通広告を、積極的に展開した。

誌や受験サイトに告知広告を出稿し、特にオープンキャンパスへの動員を図るため、京阪電車での中吊り広告や京橋駅ホームを本学広告で占拠した「京橋ジャック」、阪急梅田駅からJR大阪駅へのムービング

片山 進

25年度の就職中間報告 大学・短大とも好調 希望進路へ全力サポート

日本経団連の「採用選考に関する企業の倫理憲章」改定により、企業の広報活動が12月1日開始に変更になってから2年目となる今年の採用活動は、心配された企業側の対応もスムーズで、学生への影響もほとんど見られませんでしたが、またわが国の景気も少しずつ回復の兆しが感じられ、企業側の採用意欲も向上しています。このような状況の中、企業は学生へのアプローチ手段として、従来通りの就職ナビ(リクナビ・マイナビ等)の活用とは別に、大学の就

職部との連携を強化する動きが見られます。

本学では、卒業年次生を対象に「本学主催企業セミナー」を全5回、また学内に於ける「企業マッチング会(※1)」を24回実施しました。この2つのサポート行事や学生との個別面談

インターンシップ体験記 大学

派遣先 カースキヤリアセン 大阪国際大学 現代社会学部 情報デザイン学科3年次生

加茂 雄馬

私は今年2013年の夏、カースキヤリアセンター様の下で、10日間に渡るインターンシップを体験させていただきました。このインターンシップで体験したことは、これからの自

分にとって確かな力となり、前へ進むための大きな自信を得ることに繋がりました。

体験は前進への自信、力に

この企業実習では、社会人基礎力を養う講習と、就活生向けのフリーペーパーを作成し、最

派遣先 枚方公済病院 大阪国際大学 人間科学部 スポーツ行動学科3年次生

小谷 礼奈

私は、10日間にわたりインターンシップに参加させていただき、

大学生活では学ぶことのできない経験により、残りの大学生活そして今後の進路選択へのヒントを得られた研修となりました。

来場者の好感度抜群

大学・短大オープンキャンパス

志願者増へ 期待高まる

今年度のオープンキャンパスは、9月1日の開催をもって全9回の日程を終了した。今年度は全体的に、参加者全員を奥田メモ



各学科での学びを、高校生や保護者に教員らが紹介した

※1 学内企業マッチング会は、12月19日実施予定分まで。

※2 就職決定率は、就職希望者に対する就職者の割合。(就職部 課長 中原 清治)

周年記念行事華やかに 親交、思い出深める

4学校 同窓会

学園設置の各学校同窓会が、今年度は相次いで周年記念の年となり、それぞれ同窓会役員が準備に尽力して、盛大な祝賀会が開催された。

6月2日には、滝井高校同窓会である撫子会創立80周年記念祝賀会が、ホテルニューオータニ大阪で盛大に開催された。小笠原流礼法宗家 小笠原敬承宗氏による記念講演「日常生活に活かすマナー」が行われ、スペシャルゲストとしてロンドン五輪で活躍した卒業生・山口 舞選手がスピーチした。



歴代の卒業生が集い、盛大に行われた統合3周年および羊帝会創立50周年祝賀の宴

9月16日には、帝国女子大学・大阪国際女子大学同窓会「なでしこの会」45周年記念同窓会が、ヒルトンホテルで開催された。また、10月6日には、統合同窓会3周年記念＆「羊帝会」創立50周年祝賀の宴が、リーガロイヤルホテルで開催さ



ホース・アシステッドセラピーの体験として設けられたポニーに触れあうコーナー

本学の取り組みを紹介した映像や吹奏楽部・競技チアリーディング&エアロビクス部・ダンス部によるデモンストレーション

を行い、来場者から高い評価を得た。また、学科の学びを体験する水上バスクルーズツアーやオランダ・フェンロでの海外インターンシップ紹介展示、次年度開講するホース・アシステッドセラピーの体験として、ポニーを呼ぶなど学びに直結した内容を高校生に触れてもらった。アンケート結果では、来場者のほとんどが満足しており、志願につながる事が大きいと期待される。

(入試・広報部 永来 学)

卒業生たちは



神戸学院大学文学部 研究員 大阪国際大学 非常勤講師 大阪国際大学 人間科学部 心理コミュニケーション学科 '08年卒 板山 昂

理学の教育活動をしていきます。

心理学の素晴らしさを広めたい

私は、大学卒業後は関西国際大学大学院に進学し、犯罪心理学を専門的に学びました。その後、さらに神戸学院大学大学院で、裁判員裁判における一般市民の量刑判断に関する心理学的問題をテーマに博士論文を執筆し、博士号を取得しました。

現在は研究職(大学教員)を目指し、博士後期課程で在学した大学の研究員として研究活動、複数の大学で非常勤講師として、心

理学の素晴らしさを広めたいと考えています。今後は、心理学の研究者として社会に貢献できることを目指すとともに、教育者として心理学の素晴らしさを、広めていきたいと考えています。

学園広報 Review

学園設置の各学校からは、印刷物やインターネットで様々な情報が発信されています。「学園広報 Review」では、それらの中からいくつかをご紹介します。

大学 大阪国際大学公式Twitter フォローよろしくお願いします!

大学・短大では8月から公式Twitterの運営をスタートしました。在学生の活動やイベントのお知らせ、メディア情報など大学・短大の最新情報を発信しています。ぜひフォローしてください!



QRコードからもご覧いただけます。



https://twitter.com/oiu_PR

短大 『半世紀のあゆみ』

短大羊帝会50周年を記念して、学園では『半世紀のあゆみ』を発行しました。1962年開学から現在に至るまでのあゆみを、写真を使って紹介しています。



全日本セッター 宮下 遥選手の応援ポスターができました

1面で紹介した全日本セッター宮下遥選手を、見守り、応援すべく、学園ではポスターを制作しました。本紙をご覧のみなさまで、会社や店舗、掲示板などで宮下選手のポスター掲出にご協力いただける方は、広報課までご連絡ください。(06-6907-4325、koho@oiu.ac.jp)



ひと 長崎の国際会議で 枚方市の平和の取り組みを紹介

人間科学部心理コミュニケーション学科4年でボランティア活動研究会部長の森友貴恵さん(22)は、11月2日から4日まで長崎市で開かれた核兵器のない世界をめざす国際会議に、枚方市民41万人の代表として参加し、枚方市の平和への取り組みを紹介した。

集会の名称は「第5回核兵器廃絶—地球市民集会ナガサキ」。3日間で、国内外のNGOや研究者ら延べ約3千人が集まった。大学のボランティア活動研究会部長として活動する森さんは、今年3月



集会の名称は「第5回核兵器廃絶—地球市民集会ナガサキ」。3日間で、国内外のNGOや研究者ら延べ約3千人が集まった。大学のボランティア活動研究会部長として活動する森さんは、今年3月を1万灯として、この事故や東日本大震災の犠牲者追悼と世界平和の祈りを捧げたことなどを話した。

集会は、「核の傘」からの脱却を日本政府に訴える「長崎アピール2013」を

1日の「枚方市平和の灯火」でフォトコンテスト入賞者のプレゼンターを務め、来年3月の催しの実行委員長であることから白羽の矢が立った。

会議には森さんを含め国際大から3人と枚方市職員1人が出席。森さんは、2日目の分科会「ワールドカフェ」に集まった6人を前に、枚方市が1939(昭和14)年3月1日に旧陸軍の禁野火薬庫で約700人が死傷する爆発事故があったことで、この日を「枚方平和の日」と定め、毎年平和行事を展開していること。今年はロソックの明かり

採択して閉幕したが、森さんは、福島から来た高校3年生が、原発事故のため、3年間仮校舎でしか授業を受けられなかったと報告したのが強く印象に残ったという。「風化させない」人に伝えていくのが分科会でのまとめでもあった。

人間科学部4年次生 森友貴恵さん(22)

直言

日本・インドネシアの教育交流「現状と発展」

在大阪インドネシア共和国総領事館 総領事代行 バンバン・スギアント



「教育は世界を変える一番効く武器である」と南アフリカの指導者、ネルソン・マンデラ(Nelson Mandela)がの言葉を流行させていた。この言葉は、国民の福祉を

トリアアやアメリカそしてヨーロッパ以外に、日本は一番人気がある留学先国である。2012年、日本に留学しているインドネシア人は2236人で、その内、874人は在

留学の分野をみると、多くの留學生はコンピューター学、機械学、地質工学、応用化学、医学、農業・畜産科学技術、生命科学などを専攻しており、後は、社会学と語学を学んでいる。

55年にも亘る日本とインドネシアの二カ国間関係の中、政治や経済の交流のほかに両国の教育の交流は現在喜ばしい発展を示している。インドネシア人の人材を育成するために、オース

は日本政府の文部科学省の奨学金の奨学生達である。後には、インドネシア政府(インドネシア教育文化省高等学校総局/DIKTI、国家開発企画

一方、「DARMASISWA」という奨学金プログラムを通じてインドネシア政府の外国人に奨学金を与えている。他の国に比較すると、同プログラムへの参加者は日本人が一番多い。

「教育は世界を変える一番効く武器である」と南アフリカの指導者、ネルソン・マンデラ(Nelson Mandela)がの言葉

を流行させていた。この言葉は、国民の福祉を

留学の分野をみると、多くの留學生はコンピューター学、機械学、地質工学、応用化学、医学、農業・畜産科学技術、生命科学などを専攻しており、後は、社会学と語学を学んでいる。

GLOBAL MIND イベント写真館



文化祭 9/8 模擬店・緑日・舞台・ステージ等々、それぞれの場所で全員がパワーを発揮し、とても楽しい文化祭となった。



運動会 10/6 「いくつはいるかな」年中組の玉入れ。かごをめぐらせて、「せーの!」



文化祭 9/22 演劇やコーラス、展示で成果を発表。写真は幕間のハプニング。生徒に誘われて校長もヒゲダンスで舞台へ。



滝井フェスタ 9/13・15・25 コーラス大会、文化祭、体育大会からなる滝井高校最大の行事。文化祭は悪天候にも関わらず、外部から1000人以上も来場いただいた。



大学 灯華祭~Heat Up~(枚方) 11/2、3 地域の皆さんもたくさん来場され、盛り上がった枚方キャンパス灯華祭。



大学短大 優花祭(守口) 10/19、20 新1号館建設のため、ステージや模擬店は従来の中庭ではなくグラウンドに設置。ユニークな企画に笑いが巻き起こった。



学園 第27回奥田メモリアルフェスティバル「リズムの世界旅行~ワールドパーカッションフェスタ」11/22 地域の方々など約600人を招待し、「打楽器」に焦点を当て、マリンバ奏者 松本真理子氏ナビゲートでその成り立ちや国、地域による違いを紹介。迫力ある演奏を楽しんでいた。

●本誌に記載の学年、肩書き等はすべて情報収集時のもので、発行時期と異なることがあります。ご了承願います。
●卒業生の住所等の変更、送付不要のご連絡は同窓会提携会社プリンティングサービス TEL.06(6167)1751 E-mail: info@printing-s.jp までご連絡ください。
●卒業生以外の方の送付に関するご連絡や、本紙に関するご意見、ご感想等は学園広報課までご連絡ください。電子メールもご利用ください。koho@oiu.ac.jp

各学校の最新ニュースは公式サイトでご覧いただけます。 大阪国際学園 検索